

Contents

Business Angle _____ 1
 Point of View _____ 2~3
 Activities _____ 4

【事務局】 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-37-4 友田三和ビル3F
 TEL 03-3296-0769 FAX 03-3296-0779 URL http://www.ajec.com/

Business Angle

◆「2005年編集制作業経営白書」発表 直近決算は増収ながら収益は横這い

増収会社が半数を超え 昇給率・昇給額が過去最高に

2005年度版の「編集制作業経営白書」がこのほど発表されました。それによると増収だった会社が前年より大幅に増えたものの、収益面では「減益」「横這い」とする会社が依然として7割を占め、本格的な回復基調には至りませんでした。

日本編集制作会社協会では、編集プロダクションの経営実態を把握するため、毎年、会員社に対してアンケート調査を実施し、「経営白書」を作成しています。今年は34社から回答が寄せられ、これを専門分野ごとに「教材」「一般書」「企業出版」「その他」に分けてそれぞれ分析を加えました。また当調査では経営実態をより正確に浮かび上がらせるため、編集制作以外の業務比重が高い会社で、回答数値が極端に他のサンプルと異なる場合には、これを集計から外し、有効平均値を算出しています。

この結果、協会加盟会社の平均売上高は3億2,668万円、平均社員数は16.1人（いずれも有効平均）でした。売上に関しては増収の会社が前年調査の26.3%から55.9%と大幅に増加した一方で、利益面では「減益」「横這い」とするところが70.6%に達しました。今期の業績見通しでは、増収見込みの会社が45.5%、増益見込みの会社も45.2%にとどまり、いず

れも前年調査を下回りました。

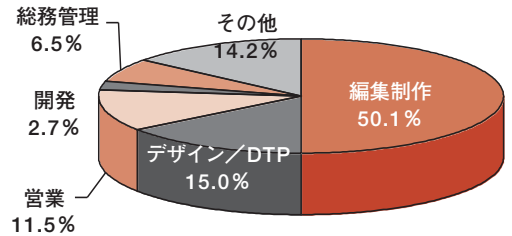
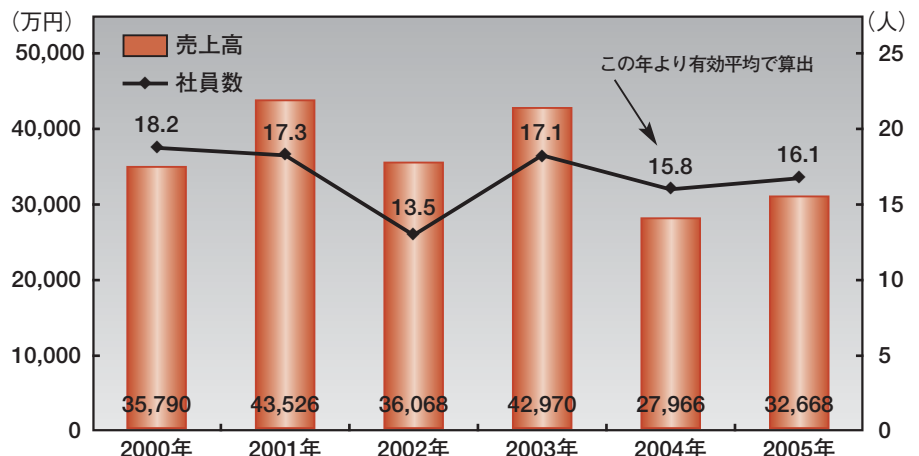
従業員は正社員が16.1人、契約社員とアルバイトが7.2人で、合計23.3人（前年22.9人）でした。また採用実績は平均3.5人でした。

業務の拡大・多様化で 編集制作の売上構成は6割に

社員の待遇では、初任給の平均が19万3,774円と前年調査の19万5,864円を下回りましたが、平均昇給率は5.8%（前年5.6%）、平均昇給額は1万4,515円（同1万2,985円）でいずれも過去最高となり、年間賞与も平均3.0か月（同2.8か月）で前年調査を上回りました。

経営上の悩みでは、「人材の確保・育成」と答えた人が最も多く、回答者の76.5%がこれを挙げました。次いで「当面の仕事確保」（38.2%）、「資金繰り」（26.5%）、「後継者問題」（23.5%）などとなっています。

◆売上高と正社員数の推移



従業員の職務構成

編集制作会社も最近では業務内容が拡大・多様化し、売上の中で編集制作業務が占める割合は6割にとどまっています。また従業員の職務構成を見ても、編集制作を行っている社員の割合が年々減少し、今回の調査では50.1%（前年53.4%）でした。

会社の目指す方向性については、現状の編集プロダクションを挙げる人の割合が減少傾向にあり、今回の調査では41.1%（前年54.5%）に落ちました。また編集制作業の将来に関しては、「発展する」「まあまあ発展する」と前向きにとらえている人が50.0%を占めましたが、その一方で「厳しい」「発展しない」と悲観的に考えている人の割合が28.1%（前年17.2%）に達しました。

これからの時代に、編集制作会社はどのようなスキルを求められ、何を期待されているのでしょうか——。

今回はそんな視点から、協会の賛助会員でもある大日本印刷、凸版印刷、図書印刷グループの印刷大手3社の出版企画担当者にお集まりをいただき、出版界を取り巻く環境の変化や、編集制作会社に対する要望などを聞きました。

編集制作会社には「企画力」が欠かせない

——皆さんは日頃、印刷会社さんの中で出版企画をご担当されているわけですが、何社ぐらいの編集制作会社とお付き合いしているのですか？

奥主 正式に数えたことはありませんが、200社くらいとお付き合いしているのではないのでしょうか。もっとも常時一緒に仕事をしているのは、そのうち50~60社くらいです。

池田 当社の場合も編集制作会社さんをきちんと把握しているわけではありません。ですから、もっと編集制作会社さんと綿密に連携し、情報を交換しながらシナジー効果を発揮させていくことが必要だと思っています。そのためにもAJECのような団体は大変ありがたい存在です。

岡本 当社は図書印刷の中で企画提案型のビジネスを進めていくために設立されたこともあり、編集制作会



榎森雅美（日本編集制作会社協会理事長）

社さんとお付き合いは不可欠で、仕事をお願いしている会員社さんも年々増えています。このため協会が毎年発行している「会員ガイド」がとて役に立っており、今後もさらに誌面を充実させ、会員社の専門分野や実績をわかりやすくビジュアルで紹介してくれると助かります。

——編集制作会社に仕事を頼むとき、どんなことを期待していますか？

岡本 最近話題の『電車男』（新潮社刊）にしても、ネットに書き込まれたやり取りを物語にしたら、60万部を超えるベストセラーになった。いくら出版不況だと言っても、時代にあった良いコンテンツならば売れるんですね。編集制作会社さんにもそういうコンテンツづくりに取り組んで欲しいし、専門的になって欲しい。「何でもできますよ」というのは、今の時代ではまず通用しません。

池田 それから企画力も重要です。出版不況になったせいか、「何か売れる企画はないか」とか、「企画込みでどこか良い編集プロダクションを紹介してくれ」という話が非常に多くなっています。これは出版会社さんだけではなく、一般企業でも自社で制作物をつくっているようなところでは、「プロのサポートが欲しい」とよく言われます。企画力とスキルを持った編集制作会社なら、出版会社以外でもニーズは大きいと思いますよ。

奥主 企画力はとても大きな武器だし、私の所属するTANC (Toppan Axis Network Communication) 部でも、本当に求めているのは企画の立案者です。オペレーションやデザインは後からどうにでもなりますが、「こういう本を作る」とか、「このコンセプトで行く」といった企画立案は、後回しにはできませんからね。極端に言えば、これからの時代はデザインよりも、まずは考える力が欲しいということです。

——我々は編集制作の現場でアウトソーシングを受けているためか、編集制作は仕事だけど、企画は仕事のプラスαみたいな気持ちがあります。実際、企画を考えても、それが通らなかつたらお金はいただけませんからね（笑）。その一方で、どこの出版会社さんも企画には相当苦しんでいるようですし、我々に対する依存度もかなり高くなっています。皆さんの場合でも、企画を頼まれるケースが増えているんでしょうね？

岡本 我々もこちらから企画を持っていくよりは、出版会社さんの方から「何か良い企画はないか」と言われるケースが多くなっています。それが商業印刷とは違うところで、出版の場合はまさに企画ありきですね。
奥主 担当営業から、「某出版会社さんに提案するための企画が欲しい」と言われることもあれば、「ドアノッ



池田敬二氏 (大日本印刷株式会社)



岡本隆司氏 (株式会社クリエイティブ・センター)



奥主恒雄氏 (凸版印刷株式会社)

クのために何でも良いから簡単な企画を作ってくれ」と言われることもあります。いずれにせよ企画力が営業の重要な武器になっていることは間違いありません。

コラボレーションは いくらでも機会がある

— 大手の印刷会社さんは、日々の営業によって出版会社さんの企画ニーズを吸い上げているわけですが、編集制作会社はたとえ企画力があっても、それだけの営業部隊は存在しません。そういうことを考えると、コラボレーションしていくメリットはお互いにあるでしょうね？

池田 そうだと思うし、実例も確実に増えています。印刷会社の担当営業は、出版会社さんで定期雑誌などを受け持つと、もうすっかり身内も同然となり、お客さんとの結びつきが非常に強くなります。ですから自然と編集者の悩みごとや、「こういうことはできないか」という話を聞く

ことが多くなるわけで、そのための企画を編集制作会社さんと一緒になって考えていくことは、お互いにメリットになると思いますね。

奥主 パートワークの企画などもそうですが、我々は出版会社さんから「何か企画をくれ」と言われるたびに、短期間に内容の濃いものを確実に持っていったと自負しています。編集の現場に入っているのでニーズもわかるし、我々の事業部の中に企画部門があるので、臨機応変に対応できたことが良い結果に結びついたと思っています。そこには当然、多くの編集制作会社さんの協力があつたし、これからも積極的にコラボレーションをやっていくつもりです。そのときに我々が必要とするのは、迅速な反応です。話を投げかけてもすぐに乗ってくれないと、ビジネスチャンスは逃げてしまいますからね(笑)。
— ホームページやWebコンテンツについてはいかがでしょうか？

奥主 電子ブックや「Bitway」(凸

版印刷が'99年から提供しているコンテンツ流通サービス)など、当社でも携帯端末を通じて文章を読ませるビジネスを行っています。事業規模はまだ総売上上の数%くらいしかありませんが、それでもこの分野は毎年確実に売上を伸ばしています。

池田 ネットでコンテンツを配信することはやっていますが、事業としてはまだまだ発展途上ですね。たとえば課金システムやビューワなどの閲覧機能も、まだまだ課題が残されていますから。その一方で、メールやネットなどで摂取する文字量は若い世代を中心に増えており、見通しは明るいと思っています。

— 我々編集制作会社は、もっと大手印刷会社さんの仕事内容を理解し、企画をご提案させていただくことで仕事が大いにふくらむチャンスがあることを認識する必要があるようですね。今日は貴重なお話をいただきまして有難うございました。

(構成・文：高雄宏政)

Admission

「正」は正会員、「賛」は賛助会員、「準」は準会員

新入会員社紹介

正 株式会社 シーアール

住 所 〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町2-3 フジランドビル9F
TEL. (092) 283-8030 FAX. (092) 283-8032
代表者 代表取締役社長 馬場健治 設立 1995年8月1日 社員数 24名
取引先 角川書店、角川インタラクティブメディア、ウォーカープラス、RKB毎日放送、日本経済新聞社、FM九州 (CROSS FM)、電通九州、博報堂、西鉄エージェンシー、大広九州、ジェイアール九州エージェンシー、NTTアド、広告社、貿易広告社、KJ企画、アサツーディ・ケイ、京橋エージェンシー、アド通信社、佐世保市役所、ナムコ、小倉ターミナル、レゾネイト、凸版印刷、大日本印刷ほか
特 徴 九州・山口のグルメ・温泉・イベント等の取材・ライティングをはじめ、情報誌の編集委託やタイアップ広告の制作など、『編集』を切り口に、数多くの雑誌制作を行っている福岡の編集プロダクションです。「情報収集力・情報加工力・取材力」を武器に、雑誌にとどまらず、放送局への情報提供やPC&ケータイのデジタルコンテンツ制作も行います。広告企画やSP、通販会社のPR誌等も制作しています。 URL <http://www.crnet.co.jp>

正 株式会社 ワイドレシーバー

住 所 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-9-7 幻冬舎ルネッサンス内
TEL. (03) 5411-6710 FAX. (03) 5411-6667
代表者 代表取締役社長 森口博
設 立 2005年1月
社員数 1名 (全国サテライトオフィススタッフ32名)
事業内容 1) 出版物の編集制作 2) 企業出版の全国展開
3) 個人出版の全国展開
取引先 幻冬舎、幻冬舎ルネッサンス、ライブドアパブリッシング
特 徴 幻冬舎グループの編集制作会社です。幻冬舎ルネッサンスが新規事業を展開するにあたり、全国的な制作受皿として、6都市に拠点を持つ編集工房グループと共同出資して設立しました。全国編集ネットワーク連盟15社も参加し、500~600名の制作集団として発足しました。
URL <http://www.gentosha-r.com> (幻冬舎ルネッサンス)

新人・若手社員研修セミナー 4/8

新年度恒例の「新人・若手社員研修セミナー」が、4月8日(金)午前11時から東京・神楽坂の日本出版クラブ会館で開催され、41名が参加しました。第1部は「編集の最先端で働く喜び」と題して、檜森雅美理事長が編集制作業界の全体像を解説。第2部はビジネスマナーについて、(株)日本マンパワー社員教育専任講師兼社会保険労務士の中村俊之氏が講義しました。また第3部は「一流の編集者になるために20代でやっておきたいこと」

をテーマに(株)風讀社の坂井一之社長が講演。さらに第4部では若手編集者4名によるパネルディスカッションが行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。



第4部で行われたパネルディスカッション

春の親睦ゴルフコンペ 4/21

毎年春・秋の2回開催されている親睦ゴルフコンペが、4月21日(木)に埼玉県おごせの越生ゴルフクラブで開催されました。第34回目となった今回は5組19名の参加があり、(株)暁和の遠田潔氏がネット68(グロス76、HC8)で回って優勝。準優勝はネット68(グロス83、HC15)の坂本成輝氏(株)メイテック、3位はネット72(グロス96、HC24)の高橋直樹氏(アビームコンサルティング(株)=特別参加)でした。

第23期通常総会・懇親会 5/12

第23期通常総会が、5月12日(木)午後6時から東京・神楽坂の日本出版クラブ会館で開催されました。その後、同会館で恒例の懇親会が開かれ、準会員や賛助会員なども参加。40名近くが集まった懇親会は終始和やかな雰囲気に入れ、賛助会員の挨拶、新入会員社の紹介などの後で、情報交換や名刺交換がさかんに行われていました。



通常総会(写真下)と懇親会(写真上)の様相

拡大協議会 6/10

6月10日(金)午後6時30分から東京・神田小川町の「神田 いるさ」で拡大協議会が行われました。拡大協議会は理事に加え、各委員会の副委員長、各部会の副部長、ならびに監事が一堂に集って協会運営全般について意見交換する場で、毎年開催されています。今年は協会が中・長期目標として掲げている社団・NGO法人化や編集者資格制度に加え、制作者側からみた意義ある出版物を表彰

する顕彰制度など、協会の存在意義ならびに認知度のさらなる向上のための議論が活発に行われました。



拡大協議会を前に乾杯する理事・監事・副委員長・副部長のメンバー(於・神田いるさ)

一般書部会 6/16

6月16日(木)午後6時30分から東京・神楽坂の「京都ぎおんくろーばー久露葉亭」で一般書部会が開催されました。当日は「プロダクション経営の展望」をテーマに、昨今の出版不況にともない増加している版元からの編集費削減や著作権譲渡契約問題への対処方法について、活発に議論されました。また協会が定める編集制作料金のガイドライン「編集制作料金基準表」を制作会社の立場に立った要求基準に作り直すために、参加各社から数

多くの事例などを報告がされました。今年秋に予定している合理的基準表への改定に向けて下地作りとなっただけでなく、各社の経験談を共有することができた有意義な部会となりました。

ご意見・ご要望をお聞かせください

日本編集制作会社協会では皆様のご意見を反映し、会報を充実させていきたいと考えております。本誌に対するご要望などがございましたら、何なりとご連絡ください。
(広報委員長/高雄宏政)

TEL: 03-3296-0769 FAX: 03-3296-0779
E-mail: office@ajec.com

事務局だより

毎年恒例の「東京国際ブックフェア」が、7月7日(木)～10日(日)に開催されます。今回は過去最多となる世界25カ国、650社が出展し、協会会員社などが出展する「編集制作プロダクションフェア」も同時開催

されます。協会ブースでは会員から寄せられた「わが社の一冊」を展示するほか、会員ガイドや協会報などを配布し、協会ならびに会員社の積極的なPRの場とする予定です。皆様のご来場をお待ちしています。

◆今後の行事予定

教材部会 6/23(木)午後6時30分
「ふくるる」(東京・神田錦町)
経営研修セミナー 7/1(金)～2(土)
「経営白書」(1ページ参照)の報告や各種セミナーを行います。(H.T)